

(1) 第3期教育大綱の進捗状況<施策指標総括表> (令和7年12月末)

評価	指標数 (全体に占める割合)	主な指標	基準値 (原則R5実績)	R7目標・実績	
				目標	実績
A	25 (20.3%)	・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	79.6%	81.0%	86.9%
		・地域みらい留学等を活用した県外からの入学者	30人	50人	53人
		・県中学校体育連盟に申請した①地域クラブ数、②拠点校部活動数	①5チーム ②0部	①10チーム ②5部	①43チーム ②9部
		・「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった」と回答した①小学校、②中学校の割合（強肯定の回答をした割合）	①38.0% ②28.6%	①44.0% ②34.3%	①51.1% ②40.4%
B	19 (15.4%)	・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合	35.0%	38.0%以上	36.5%
		・部活動指導員を配置している部活動において、顧問に代わって指導員が単独で指導・引率する割合（①中学校運動部 ②中学校文化部 ③高等学校運動部）	①79.6% ②84.3% ③79.6%	①88.0% ②93.0% ③85.0%	①80.3% ②92.5% ③89.6%
		・夜10時までに寝る幼児（3歳児）の割合	93.4%	95.0%以上	94.0%
C	15 (12.2%)	・「学校の授業時間以外に、平日全く勉強しない」と回答した児童生徒（①小学校6年、②中学校3年）の割合	①6.3% ②8.1%	①5.6%以下 ②7.0%以下	①5.7% ②9.8%
		・中山間地域等の小規模校（13校）への地元中学校からの入学者数の割合	21.6%	25.2%	19.2%
—	64 (52.1%)	現時点で数値の把握が困難なもの			

- (評価基準) 【A】 R7の目標達成または目標以上
 【B】 R7の目標は未達成だがR5の基準値より向上
 【C】 R7の目標は未達成であり、かつR5の基準値より低下

(2) 第2次改訂における指標の見直しについて

今回の大綱改訂において、指標を改めて精査し、以下の考え方に基づき、見直しを実施

①社会の状況や施策の進展を踏まえて、ふさわしい指標を新規に追加

(主な例)

○<県立高等学校の生徒から、毎年5名以上の防災士を養成する>【R9目標値：累計10名】

②既に達成した指標について、目標値を上方修正または新たな指標を設定

(主な例)

○<生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童生徒同士の人間関係や仲間づくりを促進したりした学校の割合を95%以上にする(中学校)>という目標を設定していたが、R6年度で既に95.7%に達したため、目標値を上方修正【R9目標値：100%】

③施策の目指す姿と指標の関連性が曖昧なものについて、指標を再設定

(主な例)

○<各学校が作成する安全教育に関する計画のうち、災害安全に関する目標に対して「十分達成できた」と答えた学校の割合を引き上げる>という目標を設定していたが、判断基準が曖昧であるため、指標を見直し
⇒<安全教育参考資料「高知県安全教育プログラムに基づく安全教育の充実のために」を活用し、安全教育を推進している学校の割合を、すべての校種において100%とする>に再設定【R9目標値：100%】